

試合番号 : 218	試合会場 : 三島市民体育館	観客数 : 1,527		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:20	試合時間 : 02:20		
主審 : 服部 篤史	副審 : 澤 達大			
東レアローズ	通算 10勝 15敗 ポイント : 33	25 第1セット 23	VC長野トライデント	通算 3勝 22敗 ポイント : 9
監督コメント 今シーズン最後のホームゲームということで、何としても勝ちたい試合でした。かなり苦しい展開となりましたが、リリーフサーバーの峯村と途中出場の梅野、富田がチームに火をつけてくれ、勝利できた一戦だったと思います。チームのためにという思いが体現できた試合でした。自力でのプレーオフ進出はできませんが、残り2試合全力で戦います。たくさんの応援ありがとうございます。	3	18 第2セット 25	2	監督コメント とてもいい試合でした。チャンスがありながらも第5セットを取り切れなかったのが残念です。来週はホームゲームです。残り2試合勝利を目指し、しっかり準備して挑みたいと思います。松本までぜひ応援に来てください。本日はありがとうございました。
		22 第3セット 25		
		25 第4セット 19		
		16 第5セット 14		
要約レポート ホームゲームを勝利で終わりたい東レアローズとVC長野トライデントの一戦。第1セット、序盤東レは、星野、ルジェのスパイクで流れを掴み、星野、アウンの安定した攻撃で終始リードを保つ。終盤、VC長野は池田、パトリックの攻撃などで追い上げるも、最後はアウンのスパイクが決まり、東レがセットを取った。第2セット、VC長野が池田のスパイクや東レの連続スパイクミスでリードする。その後もパトリックのスパイク、池田のサービスエースなどで得点を重ね、セットを取り返す。第3セット、中盤から途中出場の富田の攻守にわたる活躍で東レがリードする。終盤になると流れが一転し、VC長野が笠利、池田のスパイクで追いつき、最後はパトリックのブロックやスパイクが決まり、VC長野がセットを取った。第4セット、序盤から東レが富松のブロック、ルジェのスパイクでリードを奪う。東レは星野のスパイクで更に得点を重ね、セットを取り、ファイナルセットに持ち込んだ。第5セット、白熱した攻防が続く。富田のブロックが決まると東レが流れを掴み、最後も富田のスパイクが決まり16-14で東レがフルセットの接戦を制した。				

試合番号 : 219	試合会場 : 堺市金岡公園体育館	観客数 : 1,994		
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:35	試合時間 : 01:35		
主審 : 森口 豊	副審 : 浅井 唯由			
堺ブレイザーズ	通算 12勝 12敗 ポイント : 37	25 第1セット 23	ウルフドッグス名古屋	通算 8勝 16敗 ポイント : 26
監督コメント 今日は安定したサイドアウトを取り続けることができたことが勝因の一つだと思います。強いサーブではありませんでしたが、集中して効果的に打つことができました。チームにとって良い一日となりました。ホームの声援を力に変えることができ、サポーターの皆様へ感謝しています。明日も熱い応援、宜しくお願いします。	3	25 第2セット 15	0	監督コメント 今日はアウェー戦でしたが、たくさんの人々の中でプレーできたことは感慨深いものでした。その中で、我々をサポートしてくれている皆様へ感謝します。次の大分三好は前回苦戦を強いられた強いチームです。より集中力が必須となるでしょう。改めて、いつも応援してくださる皆さん、ありがとうございます。次の試合もぜひ観に来てください。
		25 第3セット 21		
要約レポート 現在5位の堺ブレイザーズと7位のウルフドッグス名古屋の一戦は、セットカウント3-0で堺が勝利を取った。第1セット、WD名古屋は、樽山の強烈なスパイクを皮切りに、高松のスパイクや近のブロックで流れをつかみ得点を重ねる。対する堺は、樋口がスパイクにブロックで大活躍し、接戦の第1セットを奪うと一気に流れを引き寄せ、続く第2セットも連取した。後のないWD名古屋は、第3セット、山近を投入。見事期待に応える活躍を見せ、切れのある攻撃で堺コートに次々とボールを叩き込んだ。しかし、堺は、セッター関田が巧みなトスワークでWD名古屋のブロッカーを翻弄し、ストレートでの勝利をつかみ取った。堺は、ファイナルステージ進出に望みをつなげる大きな1勝を手にした。				

試合番号 : 220	試合会場 : 堺市金岡公園体育館	観客数 : 1,220		
開始時間 : 15:00	終了時間 : 16:56	試合時間 : 01:56		
主審 : 戸川 太輔	副審 : 中山 健			
サントリーサンパーズ	通算 17勝 7敗 ポイント : 52	25 第1セット 21	大分三好ヴァイセアドラー	通算 3勝 21敗 ポイント : 12
監督コメント 今日の試合は絶対に勝利しなければならなかったが、大分三好の粘りに終始苦しめられた。選手は良く返していたが、最後は個人の技術が足りなかった。この敗戦をしっかりと受け止め、明日に向けて準備したいと思う。本日もたくさんの応援ありがとうございます。	1	23 第2セット 25	3	監督コメント 本日の試合は何としても勝ちたい試合でした。その中で選手たちは集中力を切らさず、3-1という最高の結果を持ってきてくれた。明日も試合があるので、しっかり準備したいと思う。本日もご声援ありがとうございます。
		19 第3セット 25		
		23 第4セット 25		
要約レポート レギュラウンド4位のサントリーサンパーズと勝率を伸ばしたい大分三好ヴァイセアドラーの戦い。第1セット、サントリーは季の攻撃や大宅のブロックなど4連続得点で中盤にリードし、そのまま第1セットを取る。第2セット、終盤まで一進一退の攻防が続くが、大分三好は粘り強い守備からヤカンやバグナスが攻撃を決め、セットを奪い返す。第3セット、大分三好・ヤカンの2連続サービスポイントなどで8-5とリードすると、その後も好レシーブからヤカンやバグナスが要所で攻撃を決め、セットを連取する。第4セット、後がなくなったサントリーは藤中や季の活躍などで16-14とする。しかし大分三好は要所でバグナスの攻撃が決まり、終盤で追いつくと、最後は米田の攻撃、ブロックが連続決まり勝利を取った。				

試合番号 : 221	試合会場 : ジップアリーナ岡山 (岡山県総合グラウンド体育館)	観客数 : 3,500		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:27	試合時間 : 01:27		
主審 : 原 啓之	副審 : 西中野 健			
JTサンダーズ広島	通算 20勝 5敗 ポイント : 59	25 第1セット 20	FC東京	通算 5勝 19敗 ポイント : 13
監督コメント 先週敗戦を喫した後の試合だったので、非常に重要な試合だった。途中出場の選手を含め、チーム全体で質の高いプレーが出て、しっかりと勝利することが出来て良かった。ファンの皆様、ご声援ありがとうございました。	3	25 第2セット 19	0	監督コメント JT広島の強力なサーブに対応しきれなかったことと、その後のサイドアウトが取れず、常にビハインドの中で戦った。この様な厳しい状況を耐えられる様なチームにならないといけない。応援ありがとうございます。
		25 第3セット 16		
要約レポート レギュラウンド3位のJTサンダーズ広島と8位のFC東京の一戦。第1セット、一進一退のスタートとなったが、JT広島はエドガーの高い打点からのスパイクを中心に点差を広げた。後半、FC東京も追い上げを見せるが、JT広島がリードを守り切り、このセットを制した。第2セット、JT広島が序盤から流れを掴み好スタートを切る。FC東京も負けじと迫田を中心に点差を詰めるが、JT広島は粘り強いレシーブと小野寺のブロックでこのセットも制した。第3セット、後のないFC東京が粘りを見せたが、JT広島の深津にサーブで揺さぶられ、流れを逃してしまふ。JT広島はその後も流れを渡さず、ストレートで岡山でのホームゲームを制した。				

試合番号 : 222		試合会場 : ジップアリーナ岡山 (岡山県総合グラウンド体育館)				観客数 : 4,100			
開始時間 : 16:00		終了時間 : 17:20		試合時間 : 01:20		主審 : 村中 伸		副審 : 國頭 亮太	
パナソニックパンサーズ		通算 23勝 2敗 ポイント : 67		25 第1セット 20		ジェイテクトSTINGS		通算 21勝 3敗 ポイント : 58	
監督コメント	<p>全員が勝ちに対する思いをコートに出してくれた試合だった。ジェイテクトの強いサーブに苦しめられる場面もあったが、選手一人一人がよく集中し、我慢して戦ってくれた。明日も良い集中力を持ってしっかり全員で戦い抜きたい。本日もたくさんのご声援ありがとうございました。明日もよろしくお願ひします。</p>			3		0		<p>今日の試合は非常に重要な試合でしたが、パナソニックのプレーの精度が終始高く、我々のプレーを出すことが出来ませんでした。負けてしまいましたが、気持ちを切り替えて明日の試合に向けてしっかり準備してまいります。明日も引き続き応援よろしくお願い致します。</p>	
				25 第2セット 19					
				25 第3セット 19					
				第4セット					
				第5セット					
<p>要約レポート</p> <p>パナソニックパンサーズ対ジェイテクトSTINGSの首位攻防戦は、両チームの気迫あふれるプレーで、4000人を超える満員の観客を沸かせる試合となった。第1セット、パナソニックが山内や清水のスパイクなどでリードする。ジェイテクトも西田やカジースキなどの活躍で追い上げを見せるが、パナソニックがリードを守り抜き、25-20でセットを先取した。第2セット、序盤は一進一退の攻防となったが、パナソニックがクビアクのスパイクや深津のサービスエースなどで抜け出す。主導権を握ったパナソニックは白澤のブロックなどで優位にゲームを運び、25-19でセットを連取した。第3セット、序盤からパナソニックが山内のスパイクや久原のサービスエースなどでリードする。セット途中、ジェイテクトも西田やカジースキの活躍で追い上げを見せるも、リードを守ったパナソニックが25-19でこのセットも奪い、レギュラーラウンド優勝に向けての大きな一勝をものにした。</p>									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット					
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット					
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット					
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									